

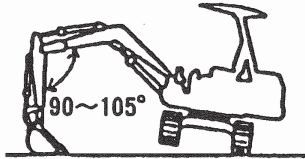
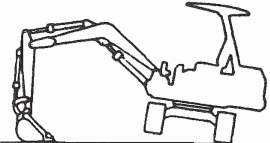
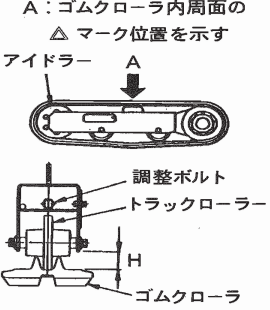
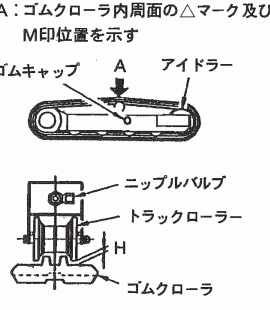
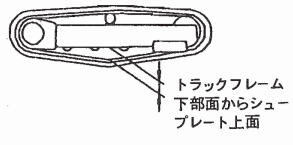
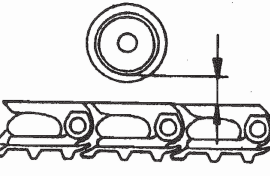
ヤンマー

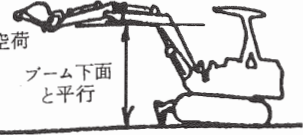
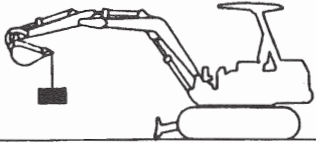
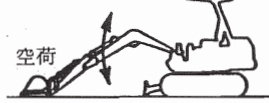
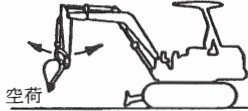
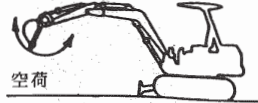
適用範囲		モデル名		B3-6A (B3Σ)	B4-6A (B4Σ)	B6-6A (B6Σ)	B7-5B (B7Σ)	
		適用号機		62001～	56001～	62001～	59603～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度		2590～2650	2425～2475	2500±25	2105～2155	
		ハイアイドルリング	min <sup>-1</sup>					
		ローアイドルリング	min <sup>-1</sup>	1125～1175	1125～1175	1150±25	1175～1225	
		(冷却水温)	(°C)	(60以上)	(60以上)	(60以上)	(60以上)	
		(作動油温)	(°C)	(50～60)	(50～60)	(50～60)	(50～60)	
	弁すき間							
	吸気弁 スキ間	mm	0.2±0.05	0.2±0.05	0.2±0.05	0.15～0.25		
排気弁 スキ間	mm	0.2±0.05	0.2±0.05	0.2±0.05	0.15～0.25			
		(測定条件)	(°C)	(常温)	(常温)	(常温)	(常温)	
	圧縮圧力	MPa	3.16	3.4	3.4	3.4		
		kgf/cm <sup>2</sup>	31	35	35	35		
	(エンジン油温)	(°C)	(40～50)	(40～50)	(40～50)	(40～50)		
	(回転速度)	(min <sup>-1</sup> )	(250)	(250)	(250)	(250)		
燃料装置	噴射ノズルの燃料噴射開始圧力	MPa	19.6～20.6	19.6～20.6	19.6～20.6	21.6～22.6		
		kgf/cm <sup>2</sup>	200～210	200～210	200～210	220～230		
冷却装置	ファン駆動ベルトの張り	mm	10～15	10～15	10～15	10～15		
		[測定位置・条件]	駆動プーリ～ オルタネータプーリ	駆動プーリ～ オルタネータプーリ	駆動プーリ～ オルタネータプーリ	駆動プーリ～ オルタネータプーリ		
	[押え荷重]		98N(10kgf)	98N(10kgf)	98N(10kgf)	98N(10kgf)		
走行性能	最高速度	S	12	14.6	18.6	16.5		
		[測定方法・条件]	(図 No. 1-1)	(図 No. 1-1)	(図 No. 1-1)	(図 No. 1-1)		
走行装置	履帯(クローラベルト)	ゴムベルト	張り(たわみ量)	mm	8～13	8～13	20～25	20～25
			[測定方法・条件]	(図 No. 2-2)	(図 No. 2-2)	(図 No. 2-2)	(図 No. 2-2)	
	鉄シユ	張り(たわみ量)	mm	105～115	105～115	105～115	150～160	
			[測定方法・条件]	(図 No. 2-3)	(図 No. 2-3)	(図 No. 2-3)	(図 No. 2-3)	
	リンクピッチの伸び	mm	103	136.5	136.5	157		
		[測定方法・条件]	1リンク	1リンク	1リンク	1リンク		
	履板取付けボルト締付けトルク	N・m	147～196	147～196	147～196	220～270		
	[測定方法・条件]	kgf・m	15～20	15～20	15～20	22.5～26.5		

検査基準値							

適用範囲		モデル名	B3-6A (B3Σ)	B4-6A (B4Σ)	B6-6A (B6Σ)	B7-5B (B7Σ)	
		適用号機	62001～	56001～	62001～	59603～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位				検査基準値
作業装置	作業機 自然降下	バケット先端位置	mm	—	—	—	—
		(測定時間) (作動油温) 作業装置姿勢 (図面番号表示)	(min) (°C)				
	シリンダ 自然伸縮	ブームシリンダ	mm	15	15	15	6
		アームシリンダ	mm	15	15	15	15
		バケットシリンダ	mm	9.0	9.0	9.0	9.0
		プレートシリンダ	mm	9.0	9.0	9.0	9.0
		(測定時間) (作動油温) 作業装置姿勢 (図面番号表示)	(min) (°C)	(10) (50~60)	(10) (50~60)	(10) (50~60)	(10) (50~60)
		テスト荷重	(kgf)	(図 No. 3-1) 無負荷	(図 No. 3-1) 無負荷	(図 No. 3-1) 無負荷	(図 No. 3-1) 無負荷
	作業機速度	ブーム上げ 作業装置姿勢 (図面番号表示)	S	3.6	3.0	3.6	4.3
			(図 No. 4-1)	(図 No. 4-1)	(図 No. 4-1)	(図 No. 4-1)	
		アームシリンダ伸ばし 縮め	S	2.8	3.2	3.8	3.5
S			2.3	3.0	3.0	2.9	
作業装置姿勢 (図面番号表示)		(図 No. 4-2)	(図 No. 4-2)	(図 No. 4-2)	(図 No. 4-2)		
		バケットシリンダ伸ばし 縮め	S	3.3	3.3	4.2	3.9
			S	2.4	2.4	2.7	2.7
作業装置姿勢 (図面番号表示) 性能測定条件 (荷重・設定モード等)	(図 No. 4-3)	無負荷 ハイアイドル	無負荷 ハイアイドル	無負荷 ハイアイドル	無負荷 ハイアイドル		
油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力	MPa	20.6	22.1	24.5	24.5
		性能測定条件 設定モード等	kgf/cm <sup>2</sup>	210	225	250	250
		油温 エンジン回転数	(°C) min <sup>-1</sup>	(50~60) ハイアイドル	(50~60) ハイアイドル	(50~60) ハイアイドル	(50~60) ハイアイドル
動力伝達装置	旋回ベアリング 取付けボルト の締付け	アウトターレス取付け ボルトの締付けトルク	N・m	245	245	264.8~304	264.8~304
		kgf・m	25	25	27.0~31.0	27.0~31.0	
		インナーレス取付け ボルトの締付けトルク	N・m	245	245	264.8~304	264.8~304
	kgf・m		25	25	27.0~31.0	27.0~31.0	
	旋回減速機 取付けボルト の締付け	油圧モータ取付け ボルトの締付けトルク	N・m	117,7~147,1	117,7~147,1	264.8~304	166.8~206
			kgf・m	12~15	12~15	27~31	17~21
旋回減速機取付け ボルトの締付けトルク		N・m	—	—	—	—	
kgf・m							

検査基準値							

<p>走行性能測定姿勢</p>	<p>本機姿勢</p>  <p>90~105°</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 定格回転</li> <li>(2) 作動油温：50~60°C</li> <li>(3) 場所：硬い平坦地</li> <li>(4) 走行レバー：フルスロットル(履帯浮き側)</li> <li>(5) 片側の履帯を浮かせ、履帯の一枚所にマークを付け、走行レバーフルスロットル(履帯浮き側)で1回転以上空転後3回転の所要時間を測定する。</li> </ol> <p>(図 No. 1-1)</p>	<p>本機姿勢</p>  <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) エンジンフル</li> <li>(2) 作動油温：45~55°C</li> <li>(3) 履帯を片側ずつ持ち上げて1回転空転後の5回転の空転所要時間を測定する。</li> </ol> <p>(図 No. 1-2)</p>
<p>ゴム履帯の張り(たわみ量)測定方法</p>	<p>履帯を浮かせ、ゴムクローラ内周面の△マークをトラックフレーム上部の中央位置になる状態でクローラフレーム下面とゴムクローラ踏面とのすき間を測定する。</p> <p>A：ゴムクローラ内周面の△マーク位置を示す</p>  <p>調整ボルト トラックローラー ゴムクローラ</p> <p>(図 No. 2-1)</p>	<p>履帯を浮かせ、ゴムクローラ内周面の△マーク及びM印をトラックフレーム上部の中央位置になる状態でトラックローラの踏面とゴムクローラ転動面とのすき間を測定する。</p> <p>A：ゴムクローラ内周面の△マーク及びM印位置を示す</p>  <p>ゴムキャップ アイドラー ニップル/バルブ トラックローラー ゴムクローラ</p> <p>(図 No. 2-2)</p>
<p>鉄履帯の張り(たわみ量)測定方法</p>	<p>履帯を浮かせ、トラックフレーム中央下部からシューププレート上面とのすき間を測定する。</p>  <p>トラックフレーム下部面からシューププレート上面</p> <p>(図 No. 2-3)</p>	<p>履帯を浮かせ、トラックローラ踏面とトラックリンク上面とのすき間を測定する。</p>  <p>(図 No. 2-4)</p>

<p>作業機自然降下量及び各シリンダの自然伸縮量の自然伸縮量測定姿勢</p>	<p>空荷</p> <p>ブーム下面と平行</p>  <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) エンジン停止</li> <li>(2) 作動油温：50~60°C</li> <li>(3) 上記の本機姿勢で60分間の各シリンダロッドの伸び量又は縮み量を測定する。</li> <li>(4) ブレードの自然降下量は最大上げ位置より1時間のシリンダロッド縮み量を測定する。</li> </ol> <p>(図 No. 3-1)</p>	 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 上記の姿勢から各シリンダの伸び量、縮み量及びバケットティース先端の降下量を測定する。</li> <li>(2) 水平・平坦地</li> <li>(3) バケット：定格負荷</li> <li>(4) レバー中立</li> <li>(5) エンジン停止</li> <li>(6) 作動油温：45~55°C</li> <li>(7) セッティング直後に測定開始</li> <li>(8) 5分毎に降下量を測定し、15分にて判定する。</li> </ol> <p>(図 No. 3-2)</p>
<p>作業機速度測定姿勢</p>	<p>ブーム上げ</p> <p>空荷</p>  <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) エンジン定格回転</li> <li>(2) 作動油温：50~60°C</li> <li>(3) 場所：平坦地</li> </ol> <p>(図 No. 4-1)</p>	<p>アームシリンダ伸ばし及び縮め</p> <p>空荷</p>  <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) エンジン定格回転</li> <li>(2) 作動油温：50~60°C</li> <li>(3) 場所：硬い平坦地</li> </ol> <p>(図 No. 4-2)</p>
<p>バケットシリンダ伸ばし及び縮め</p>	<p>空荷</p>  <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) エンジン定格回転</li> <li>(2) 作動油温：50~60°C</li> <li>(3) 場所：平坦地</li> </ol> <p>(図 No. 4-3)</p>	

適用範囲		モデル名	B3-5	B3-5B	B3-6	B3-6A	B4-6	
		適用号機	50501~	55001~	60501~	62001~	60501~	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位					検査基準値
装伝動 置達力	クレーン 時の旋回 速度	5回転の所要時間 (図NO. 1)	秒	33.9	33.9	35	35	35

適用範囲		モデル名	B4-6A	B6-3	B6-3A	B6-5	B6-6	
		適用号機	56001~	30501~	36001~	50501~	60501~	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位					検査基準値
装伝動 置達力	クレーン 時の旋回 速度	5回転の所要時間 (図NO. 1)	秒	35	31	31	36	38

適用範囲		モデル名	B6-6A	B7-3	B7-5	B7-5A	B7-5B	
		適用号機	62001~	30501~	50501~	50501~	59603~	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位					検査基準値
装伝動 置達力	クレーン 時の旋回 速度	5回転の所要時間 (図NO. 1)	秒	38	33	36	36	36

適用範囲		モデル名	VI020-3	VI027-3	VI027-3B	VI027-5	VI027-5B	
		適用号機	30501~	30501~	35001~	50501~	53316~	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位					検査基準値
装伝動 置達力	クレーン 時の旋回 速度	5回転の所要時間 (図NO. 1)	秒	39	37	37	35	35

適用範囲		モデル名	VI030-3	VI030-3B	VI030-5	VI030-5B	VI030-6	
		適用号機	30501~	35001~	50501~	53607~	60501~	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位					検査基準値
装伝動 置達力	クレーン 時の旋回 速度	5回転の所要時間 (図NO. 1)	秒	32	32	35	35	48

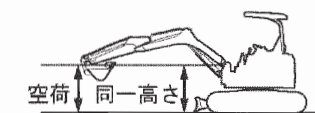
適用範囲		モデル名	VI035-3	VI035-3B	VI035-5	VI035-5B	VI035-6	
		適用号機	30501~	35001~	35001~	57001~	60501~	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位					検査基準値
装伝動 置達力	クレーン 時の旋回 速度	5回転の所要時間 (図NO. 1)	秒	34	34	34	34	52

適用範囲		モデル名	VI040-1	VI040-2	VI040-2A	VI040-3	VI040-5	
		適用号機	10501~	20501~	25501~	30501~	50501~	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位					検査基準値
装伝動 置達力	クレーン 時の旋回 速度	5回転の所要時間 (図NO. 1)	秒	37	35.5	35.5	35.5	31.5

適用範囲		モデル名	VI040-5B	VI050-1	VI050-2	VI050-2A	VI050-3	
		適用号機	57001~	10501~	20501~	25501~	30501~	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位					検査基準値
装伝動 置達力	クレーン 時の旋回 速度	5回転の所要時間 (図NO. 1)	秒	31.5	34	34	34	34

適用範囲		モデル名	VI050-5	VI050-5B	VI070	VI070-2	VI070-3	
		適用号機	50501~	57001~	00705~	20501~	30501~	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位					検査基準値
装伝動 置達力	クレーン 時の旋回 速度	5回転の所要時間 (図NO. 1)	秒	31.5	31.5	36	36	36

適用範囲		モデル名	VI070-3A	SV100-1				
		適用号機	36001~	10501~				
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位					検査基準値
装伝動 置達力	クレーン 時の旋回 速度	5回転の所要時間 (図NO. 1)	秒	36	54			

検査条件	<p>本機姿勢</p> <p>(1) エンジン定格回転 (2) 作動油温: 50~60℃ (3) 場所: 固い平坦地 (4) 空いで1回転空旋回後、5回転の所要時間</p>
	 <p>空荷 同一高さ</p>
	【図NO. 1】